



2005年度 決算説明

2006年 1月27日

キヤノン販売株式会社

常務取締役 川崎 正己

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

1 . 連結の範囲及び持分法適用会社

	2004年 12月末	新規		除外		2005年 12月末
		1	1	2	2	
連結子会社数	17	1	1	2	2	16
持分法適用会社数	0	-	-	-	-	0
合計	17	1	1	2	2	16

新規会社 1 非連結子会社であったオーエーエル（株）が連結子会社となりました。
（2005年12月）

除外会社 2 新潟キヤノテック（株）をキヤノン（株）に売却しました。（2005年1月）
連結子会社であったキヤノンヒューマンネット（株）とキヤノンファシリティ
マネジメント（株）が合併致しました。（2005年7月）

2 . 2005年連結業績トピックス

- 3期連続増収増益を達成
- 下記財務実績において過去最高を達成

単位：億円

2005年実績		<ご参考>過去実績	
項目	金額	年度	金額
売上高	8,219	97年	8,205
営業利益	297	04年	293
経常利益	291	04年	244
当期純利益	154	91年	142
株式時価総額	3,793	94年	3,583

3 . 比較連結損益計算書

	2004	2005	増減	
			金額	率
売上高	8,155	8,219	64	101%
(%)	(32.9%)	(32.9%)	(0.0%)	
売上総利益	2,685	2,708	23	101%
販売費	2,392	2,411	19	
(%)	(3.6%)	(3.6%)	(0.0%)	
営業利益	293	297	4	102%
営業外収益	21	22	1	
営業外費用	70	28	42	
(%)	(3.0%)	(3.5%)	(0.5%)	
経常利益	244	291	47	119%
特別利益	1	0	1	
特別損失	43	20	23	
税引前利益	202	271	69	134%
法人税等	78	117	39	
当期純利益	124	154	30	124%

単位：億円

営業利益増減分析

売上の増加	21
粗利率の増加	2
経費他	19
合計	4

05年レンタル資産償却年数の変更（5年定率→3年定額）により売上原価が4億円、外形標準課税導入の影響により売上原価1億円、販売費が9億円それぞれ増加し、従来と同一基準によった場合と比べ営業利益・経常利益がそれぞれ14億円減少しております。また、期間損益の精度向上のため保守売上の期間対応を年単位から月単位に変更した結果、売上で2億円の減少、営業利益・経常利益でそれぞれ7億円減少しております。

4 . セグメント別売上

単位：億円

	2004		2005		増減	
	売上	構成比	売上	構成比	金額	増減率
ビジネス機器	(2,365)	(29%)	(2,244)	(27%)	(121)	(95%)
サービス・サポート	(2,369)	(29%)	(2,515)	(31%)	(146)	(106%)
ビジネスソリューション	4,734	58%	4,759	58%	25	101%
コンシューマ機器	2,391	29%	2,542	31%	151	106%
産業機器	1,030	13%	918	11%	112	89%
合計	8,155	100%	8,219	100%	64	101%

5 . 販売費の内訳

単位：億円

	2004	2005	増減
広告宣伝費	189	189	0
保証費	164	158	6
販売促進費	217	249	32
その他直接費	86	77	9
人件費	1,250	1,264	14
支払賃借料	99	91	8
減価償却費	43	43	0
計算費用	66	55	11
事業税（外形標準課税）	-	9	9
その他販売費	278	276	2
合計	2,392	2,411	19

*05年上期より一部費目振替があるため、それに合わせて04年実績を修正しております。

6 . 営業外損益の内訳

[営業外収益]

単位：億円

	2004	2005	増減
受取利息・配当金	1	1	0
受取保険配当金	5	5	0
連結調整勘定償却益	7	8	1
雑収益・その他	8	8	0
合計	21	22	1

[営業外費用]

支払利息	5	0	5
棚卸資産廃却・評価下げ	62	24	38
雑損失	3	4	1
合計	70	28	42

7 . 特別損失の内訳

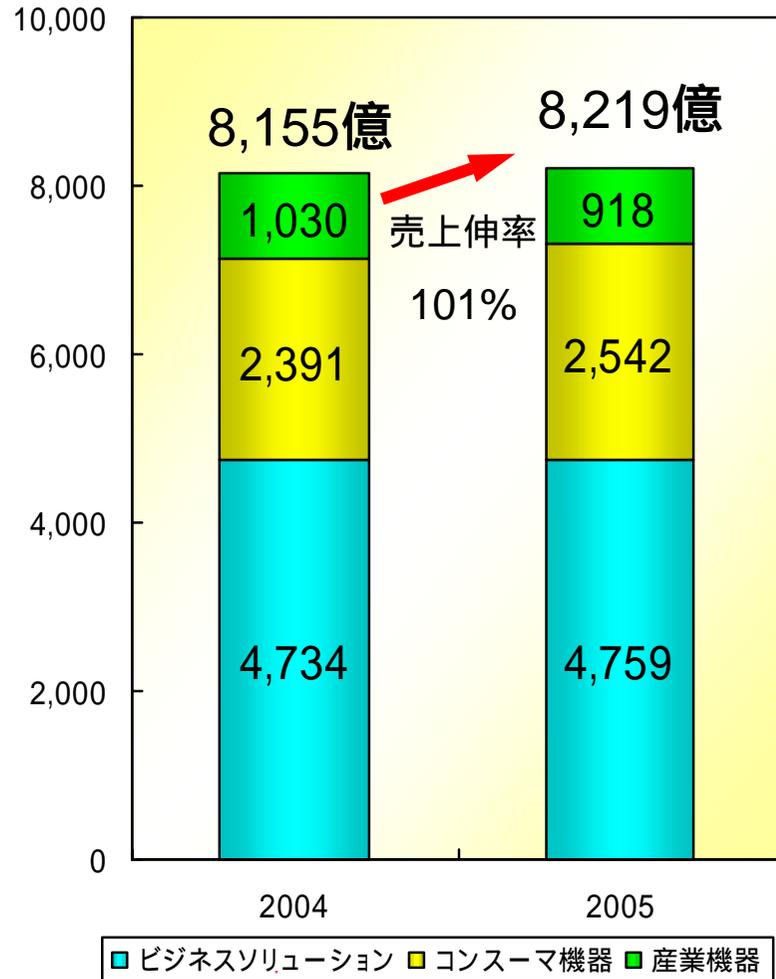
[特別損失]

単位:億円

	2004	2005	増減
固定資産臨時償却費	-	10	10
固定資産売廃却損	14	6	8
本社移転費用 (CSOL, CBM)	-	3	3
社債償還に伴う費用	17	-	17
減損損失	9	-	9
その他	3	1	2
合計	43	20	23

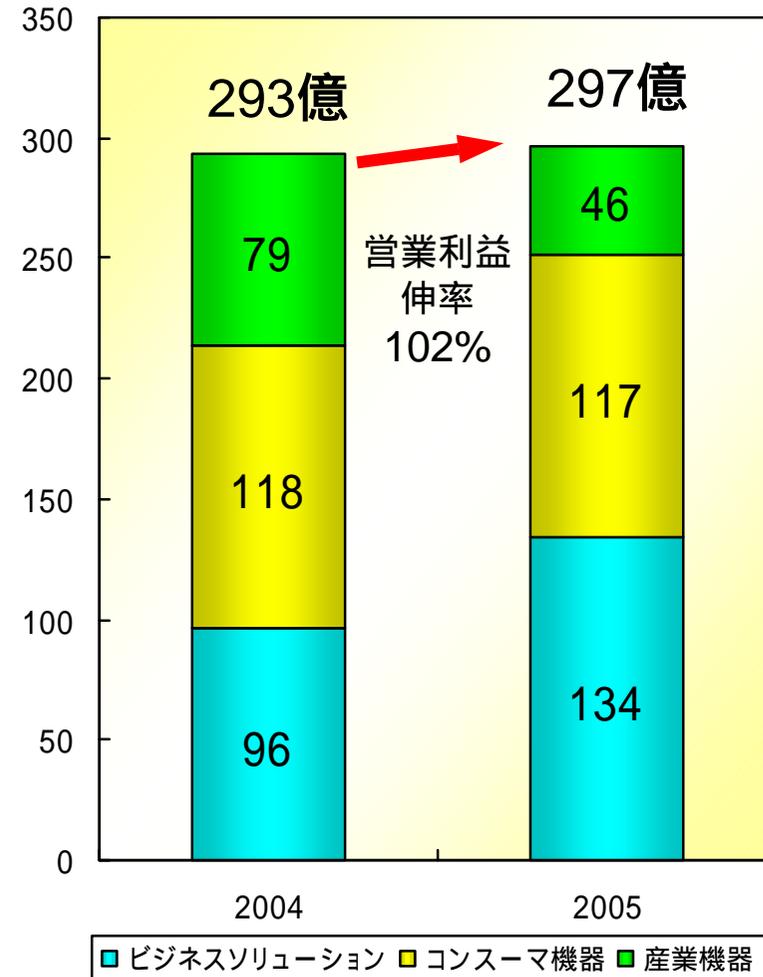
8-1. セグメント別売上・営業利益

【売上】

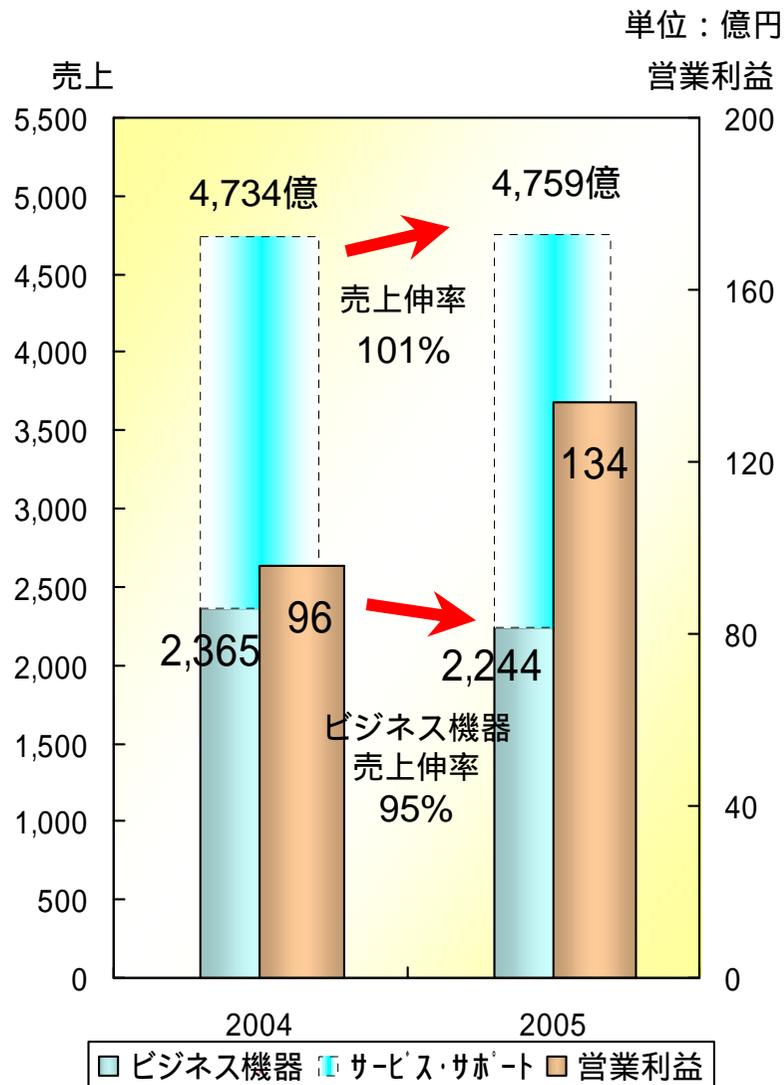


【営業利益】

単位：億円



8-2. セグメント情報 (ビジネスソリューション1)



Canon

<ビジネス機器>

[オフィスMFP]

国内市場はカラーシフトによりモノクロ機は減少したが、全体では前年並みで推移。

カラー機で5月に「iR C3170/2570」、11月に「iR C6870/5870」を発売。オープンプラットフォーム「MEAP」搭載機のラインアップを整備し、カラーシフトを促進。モノクロ機でも、普及機や高速機を新規投入し拡販に努めた。その結果、モノクロ機は苦戦したが、カラー機は順調な伸びを示した。

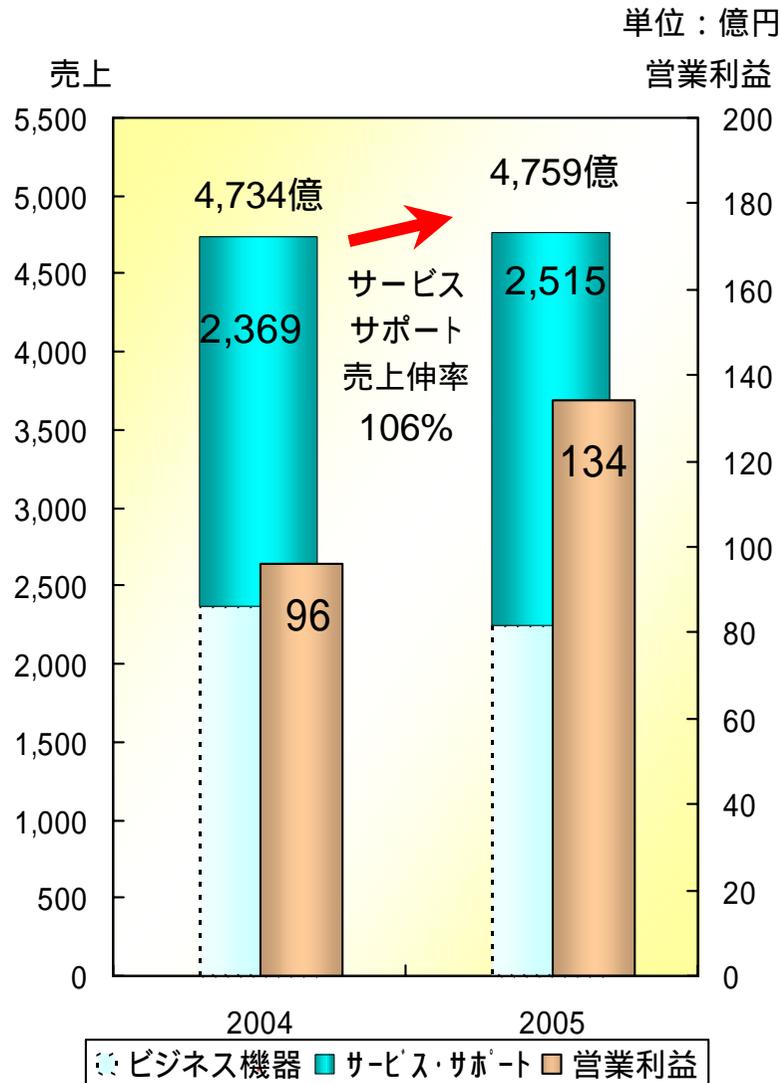
[LBP]

国内市場はモノクロ機が減少したが、カラー機は台数で順調に拡大。

カラー機の「Sateraシリーズ」で、6月にA3対応の「LBP5900/5600」、10月にA4対応の「LBP5000」を発売し、順調に売上を伸長。トナーカートリッジは、カラーカートリッジが順調に売上拡大。

トナーカートリッジ 前年同期比：105% (単体、金額)

8-3. セグメント情報 (ビジネスソリューション2)



Canon

<サービス・サポート>

[保守サービス]

カラーMFPの保守が順調な伸びを達成。ハード保守は、保守サービスをパッケージ化した「キヤノンサービスパック」が着実に伸長。

インターネットによるリモート管理システム「ネットアイ」の取付促進等により、サービスの効率化を推進。

保守サービス前年同期比：104%

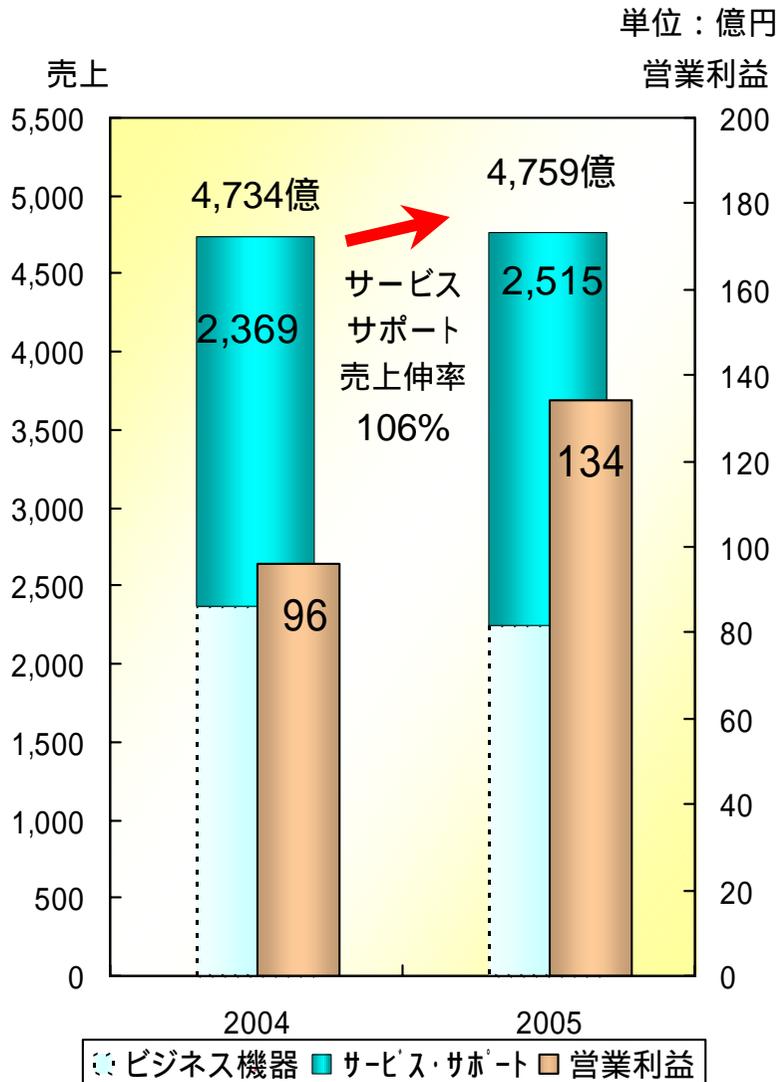
[ITサービス]

4月の個人情報保護法施行が追い風となり、情報セキュリティ関連やコンサルティングが堅調に推移。

「MEAP」関連では30種強のアプリケーションを投入し、多様なソリューションを提供。ICカード認証システムや「AnyPlacePrint」等のソリューションが順調に推移。

電子帳票システム等のレポーティング関連ビジネスも順調に推移。「Report Viewer」や「imageWARE Form Manager」等が売上を伸ばした。

8-4. セグメント情報 (ビジネスソリューション3)



キヤノンソフトウェア(株)は、品質管理等の大型ソフト開発案件の受注が増加し、パッケージソフトではワークフローシステム「Web-CADDY/」やWebアプリケーション開発ツール「Web-Performer」が売上を拡大。

キヤノンシステムソリューションズ(株)は、基幹システムを再構築するマイグレーション(プログラムやデータ等の移行)等のSI&サービス事業や自社開発の「GUARDIANシリーズ」を中心としたセキュリティ関連が順調に推移。

キヤノンネットワークコミュニケーションズ(株)はLANやデータベースの構築、アプリケーション開発等のネットワーク事業が順調に推移。インターネットデータセンター事業も拡大。

キヤノンシステムアンドサポート(株)は機器販売、保守サービスの好調に加え、セキュリティ関連を核として中小企業向けのソリューションビジネスが堅調に推移。

ITサービス前年同期比：110%

8-5 . 主要関係会社実績

単位：億円

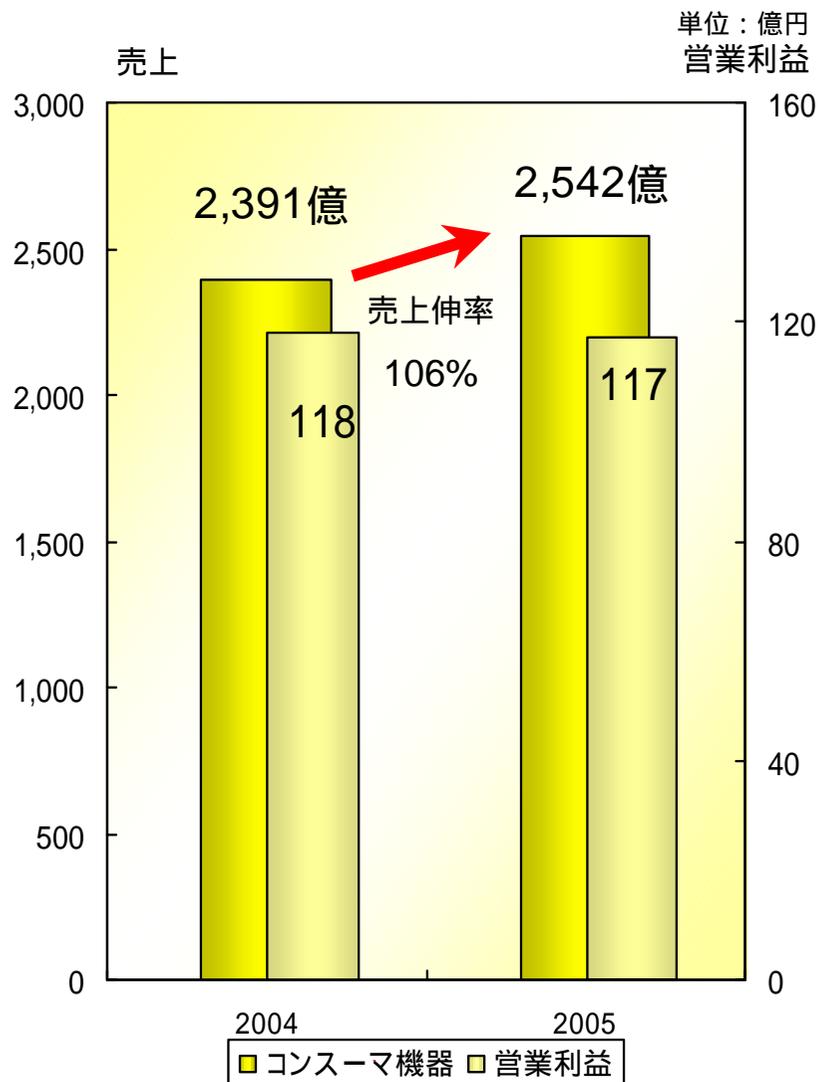
	2004		2005		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
キヤノンシステムアンドサポート（株）	975	17	1,010	21	35	4
キヤノンソフトウェア（株）	161	9	170	10	9	1
キヤノンシステムソリューションズ（株）	310	13	354	15	44	2
キヤノンネットワークコミュニケーションズ（株） 旧：キヤノテック（株） ^注	51	1	79	3	28	2

金額は連結消去前のものです。

注 キヤノテック（株）はファストネット（株）と合併しキヤノンネットワークコミュニケーションズ（株）に社名変更いたしました。（2005年1月）

2004年は旧キヤノテック（株）単独の金額です。

8-6. セグメント情報（コンシューマ機器）



Canon

[デジタルカメラ]

国内市場は、コンパクトが前年割れ、一眼レフが引き続き大幅に拡大。

コンパクトでは「IXY DIGITAL」「PowerShot」で各々6機種を投入。積極的な宣伝による製品認知等を通じ3年連続でトップシェアを維持。

一眼レフは3月発売の「EOS Kiss Digital N」、9月発売の「EOS5D」等が好調に推移。圧倒的なトップシェアを維持。交換レンズも大幅な売上増を達成。

[デジタルビデオカメラ]

“写真DV”をコンセプトに拡販を推進したが、競争激化により売上は前年を下回った。

[インクジェットプリンタ]

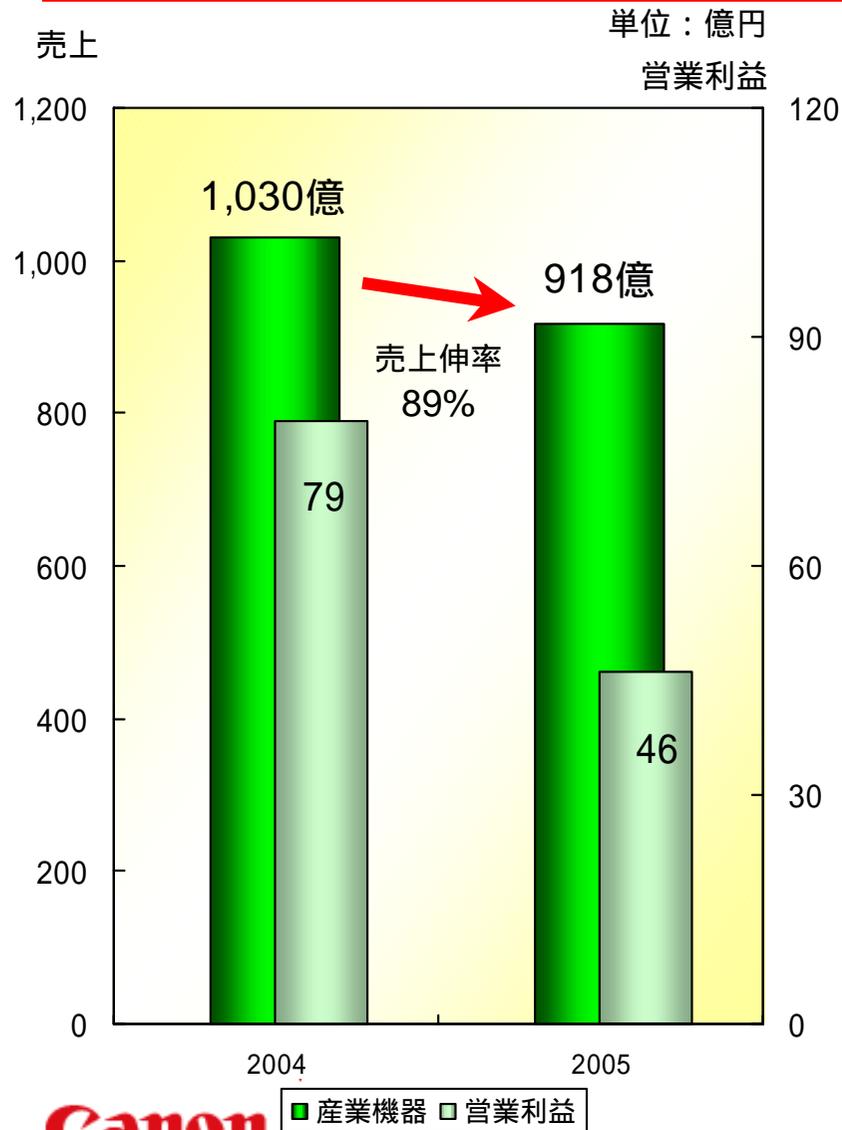
国内市場はMFPを牽引役に順調に拡大。

10月に「PIXUS」シリーズの大幅なモデルチェンジを実施。MFPを中心に売上が伸長。消耗品も順調に推移。

コンパクトフォトプリンタも売上を拡大。

インクカートリッジ 前年同期比：115%(単体、金額)

8-7. セグメント情報（産業機器）



[半導体機器]

国内の半導体設備投資は、デジタル家電市場の好況により、当初懸念された大幅な減速はなかったものの、微減で推移。

半導体露光装置でi線の「FPA-5500iZa」やKrFの「FPA-6000ES6a」の販売を強化。国内台数トップシェアを維持したが、ArFが伸び悩み売上は前年を下回った。

液晶基板露光装置は、液晶パネルメーカーへの販売を強化。

[光機]

医療機では、X線デジタルカメラは「CXDI-50G」によるクリニック市場への本格参入を図り、眼内レンズは新たなOEMビジネスも始まったが、眼科機器の低迷により全体の売上は減少。

放送用テレビレンズは、映像設備のハイビジョン化が進む民放を中心に、HDポータブルレンズや情報カメラシステムの受注に努めた。

9 . 主要新製品発売状況

	2005年												2006年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
モノクロMFP		★ iR2230	★ iR6570・					★ iR3310F-		★ iR6010-	★ iR7105i 7095i	★		★ Satera MF7240 7140
カラーMFP		★ Satera			★ iR C3170・ 2570						★ iRC6870・ 5870			
カラーLBP					★ Satera LBP5900・ 5600					★ Satera LBP5000				
デジタルカメラ	★ IXY DIGITAL 55・ 600	★ NEW EOS Kiss D				★ PowerShot S2 IS		★ IXY DIGITAL 60・	★ EOS -5D ・ 1D Mark II	★ IXY DIGITAL		★ IXY DIGITAL WIRELESS		
デジタルビデオ	★ FV500	★ FV M30 KIT					★ IXY DV M5・		★ DC20・ 10					
インクジェット プリンタ		★ PIXUS iP90・ iP9910								★ PIXUS MP950他 7機				
コンパクトフォト プリンタ						★ SELPHY CP600			★ SELPHY CP710他 3機					
産業機器					★ FPA5500iZ	★ FPA6000ES6a		★ CXDI-40EG						

10 . 比較連結貸借対照表

単位：億円

	2004.12	2005.12	増減		2004.12	2005.12	増減
流動資産	3,352	3,621	269	流動負債	1,958	2,123	165
現預金・有価証券	988	1,155	167	買掛債務	1,422	1,519	97
売掛債権	1,664	1,708	44	未払費用	297	304	7
棚卸資産	569	567	2	未払税金等	92	104	12
繰延税金資産	57	73	16	引当金	47	45	2
その他流動資産	74	118	44	その他流動負債	100	151	51
固定資産	1,471	1,512	41	固定負債	496	501	5
有形固定資産	1,029	1,024	5	繰延税金負債	2	2	0
無形固定資産	54	49	5	退職給付引当	447	455	8
投資その他の資産	388	440	52	連結調整勘定	19	14	5
（投資有価証券）	(43)	(122)	(79)	その他固定負債	28	30	2
（繰延税金資産）	(231)	(208)	(23)	負債合計	2,454	2,624	170
（差入保証金）	(93)	(87)	(6)	少数株主持分	27	37	10
（その他）	(21)	(23)	(2)	資本金	733	733	0
				資本剰余金	825	825	0
				利益剰余金	786	903	117
				その他	2	11	13
				資本合計	2,342	2,472	130
資産合計	4,823	5,133	310	負債・少持・資本合計	4,823	5,133	310

商品 ・ 修理部品 ・ 仕掛品 ・ 貯蔵品

株主資本比率 48.5% 48.2%

11 . 流動資産の状況

売掛債権・棚卸資産

単位：億円

	2004年12月末		2005年12月末		増減	
	金額	日数	金額	日数	金額	日数
売掛債権	1,664	72.4	1,708	73.8	44	1.4
棚卸資産	569	24.8	567	24.5	2	0.3
合計	2,233	97.2	2,275	98.3	42	1.1

日数は、過去6ヶ月の平均売上高より算出しております。

12．比較連結キャッシュ・フロー

	[2004]	[2005]	単位:億円 増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	202	271	69
減価償却費	87	111	24
売上債権の増減	226	47	179
棚卸資産の増減	85	8	77
仕入債務の増減	22	97	75
法人税等の支払額	69	107	38
その他増減	120	37	83
合計	221	370	149
投資活動によるキャッシュ・フロー	80	179	99
フリー・キャッシュ・フロー	141	191	50
財務活動によるキャッシュ・フロー	391	43	348
現金及び預金の期首残高	1,238	988	250
連結子会社増減に伴う増減額	0	19	19
現金及び現金同等物の期末残高	988	1,155	167

Canon

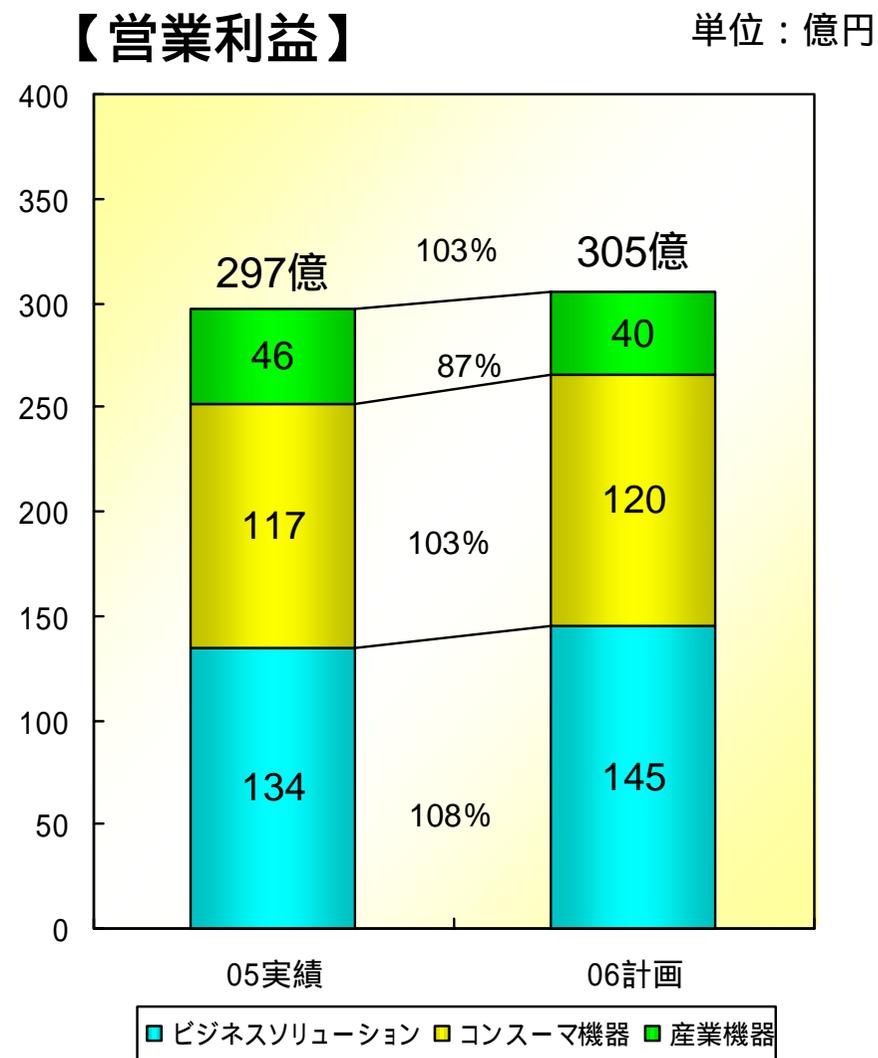
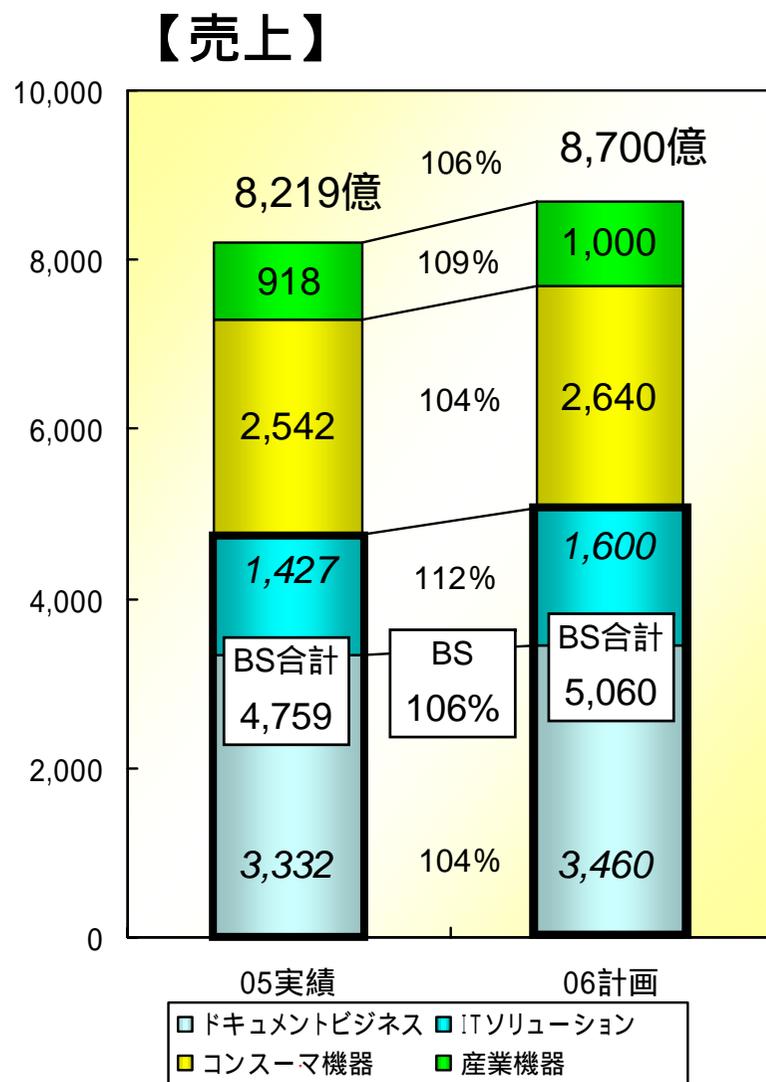
2006年業績予想

13-1 . 業績予想 (年間)

単位:億円

	2005年 (A)			2006年 (B)			増減(B-A)		
	上期	下期	実績	上期 計画	下期 計画	年間 計画	上期	下期	年間
売上高	3,996	4,223	8,219	4,230	4,470	8,700	234	247	481
(率)	(3.3%)	(3.9%)	(3.6%)	(3.0%)	(4.0%)	(3.5%)	(0.3%)	(0.1%)	(0.1%)
営業利益	134	163	297	126	179	305	8	16	8
(率)	(3.4%)	(3.7%)	(3.5%)	(3.0%)	(3.9%)	(3.5%)	(0.4%)	(0.2%)	(0.0%)
経常利益	135	156	291	129	176	305	6	20	14
(率)	(1.6%)	(2.1%)	(1.9%)	(1.6%)	(2.2%)	(1.9%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.0%)
当期純利益	65	89	154	69	100	169	4	11	15

13-2.業績予想（全社売上・営業利益）



13-3. 業績予想（セグメント見通し）

[ビジネスソリューション]

オフィスMFP、LBPのカラー化にともない、保守サービスやトナーカートリッジが堅実に拡大。

ITソリューションは、企業における個人情報保護対策の需要継続により情報セキュリティ関連等が拡大していくことを背景に、順調に推移。

オフィスMFPのモノクロ普及機は競争激化により厳しい販売状況で推移。

ビジネス関連の機器全般において市場環境により今後も厳しい価格競争が続く。

[コンシューマ機器]

デジタル一眼レフカメラは需要層の拡大に支えられ引き続き好調を維持するが、価格競争は激化。

コンパクトデジタルカメラは多数のメーカーによる競争が続くが、トップシェアを維持。

デジタルビデオカメラは採算性重視の事業を展開。

インクジェットプリンタは本体、消耗品ともに好調に推移。

コンパクトフォトプリンタも市場の拡大が続く。

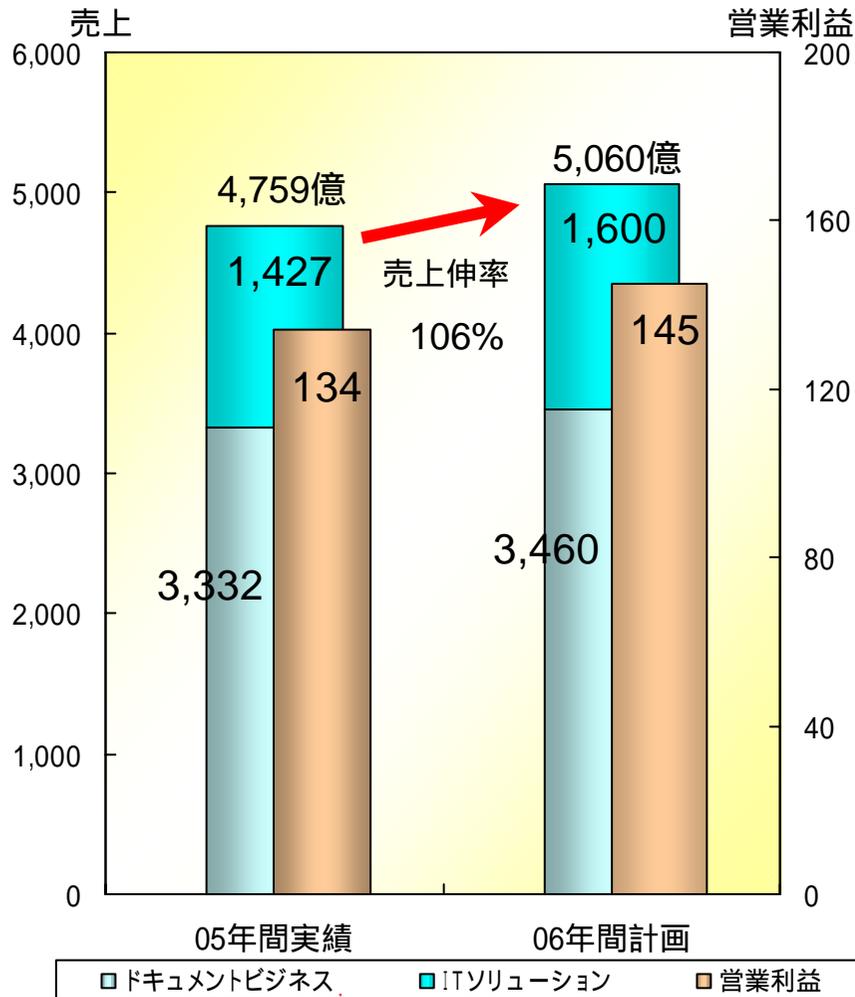
[産業機器]

半導体露光装置の台数トップシェア維持と液晶露光装置のシェア向上を見込む。

ArFの減少等により、増収減益を予想。

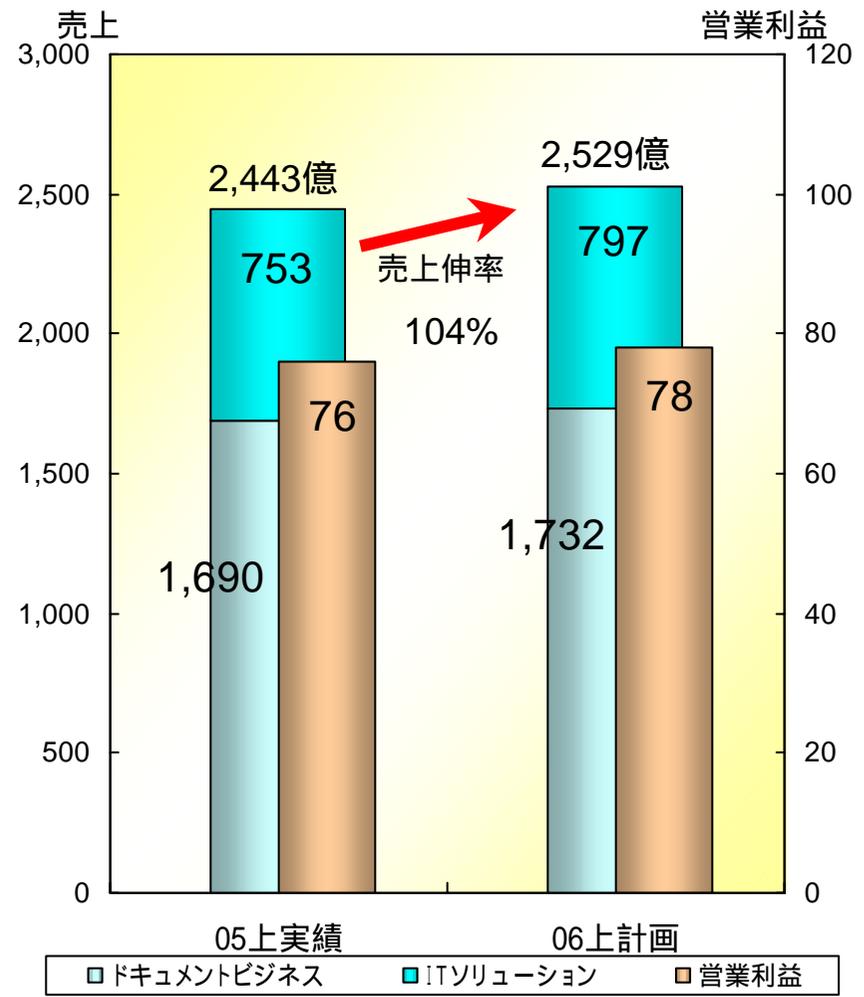
13-4.業績予想（ビジネスソリューション）

【年間】



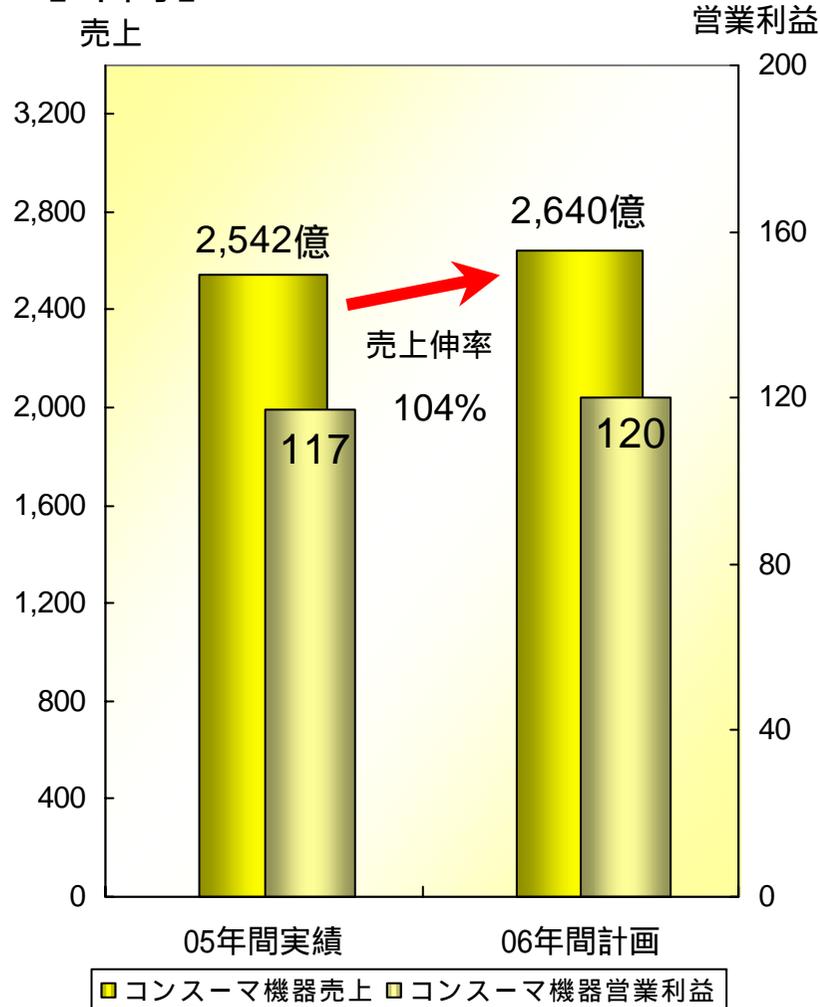
【上期】

単位：億円

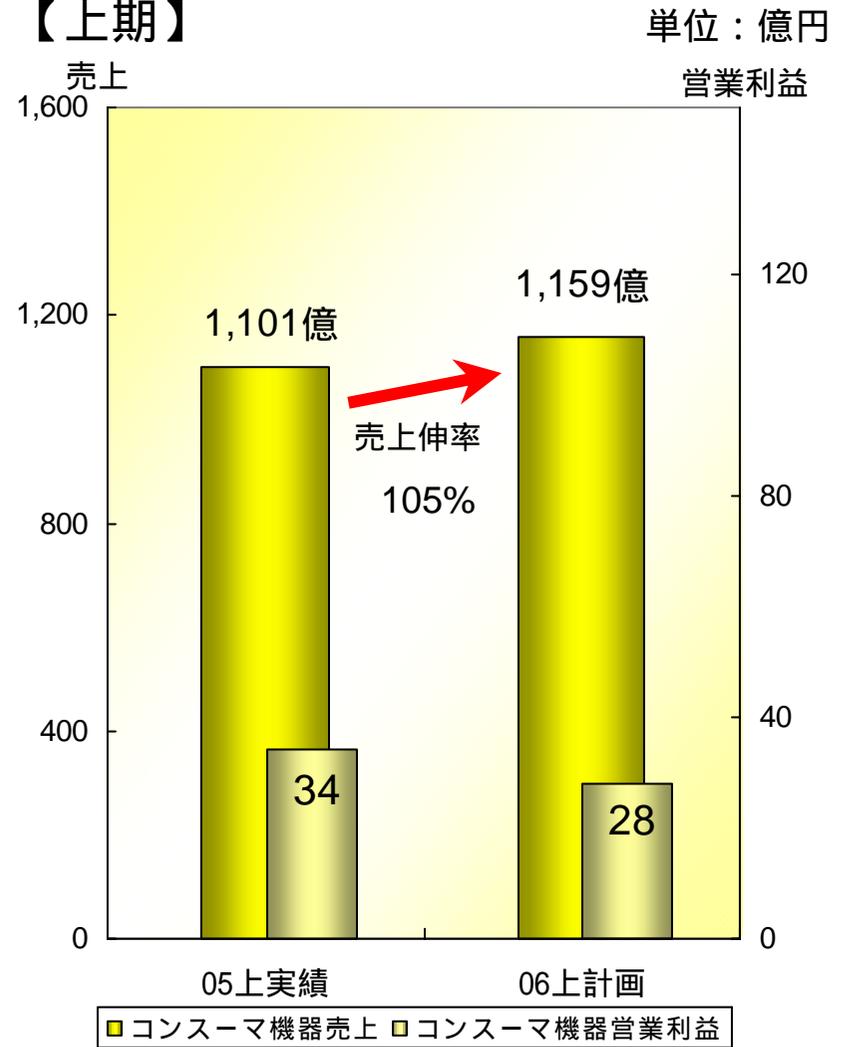


13-5. 業績予想（コンシューマ機器）

【年間】



【上期】

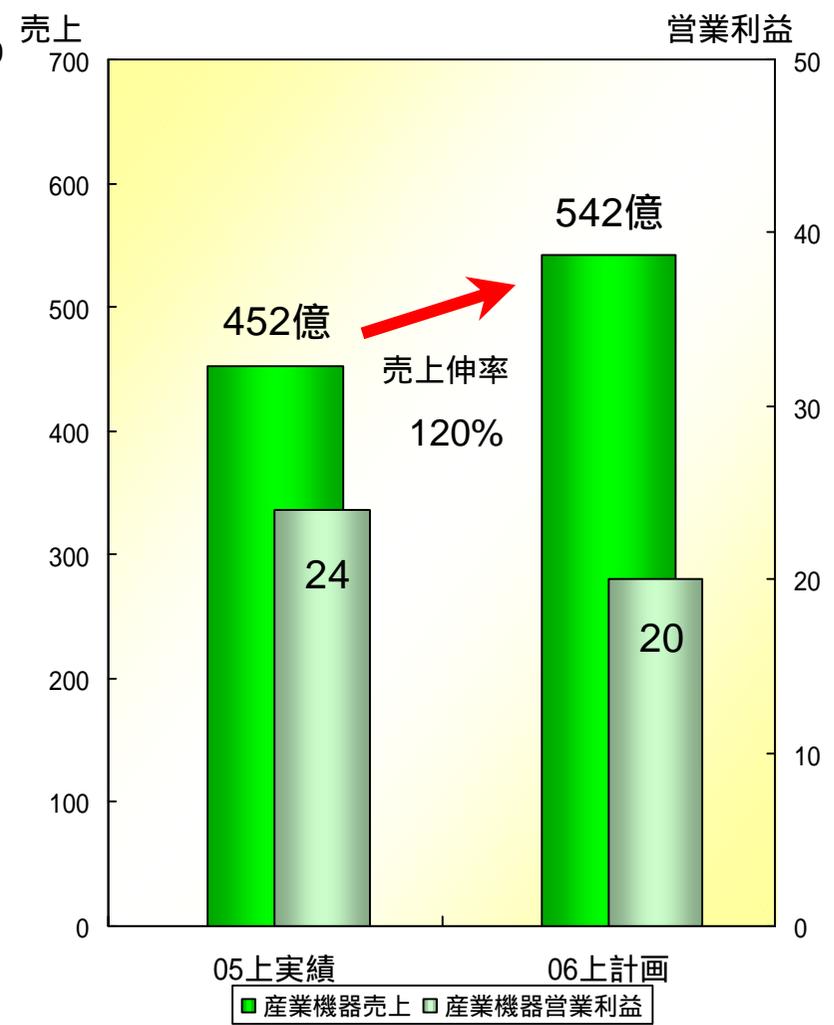
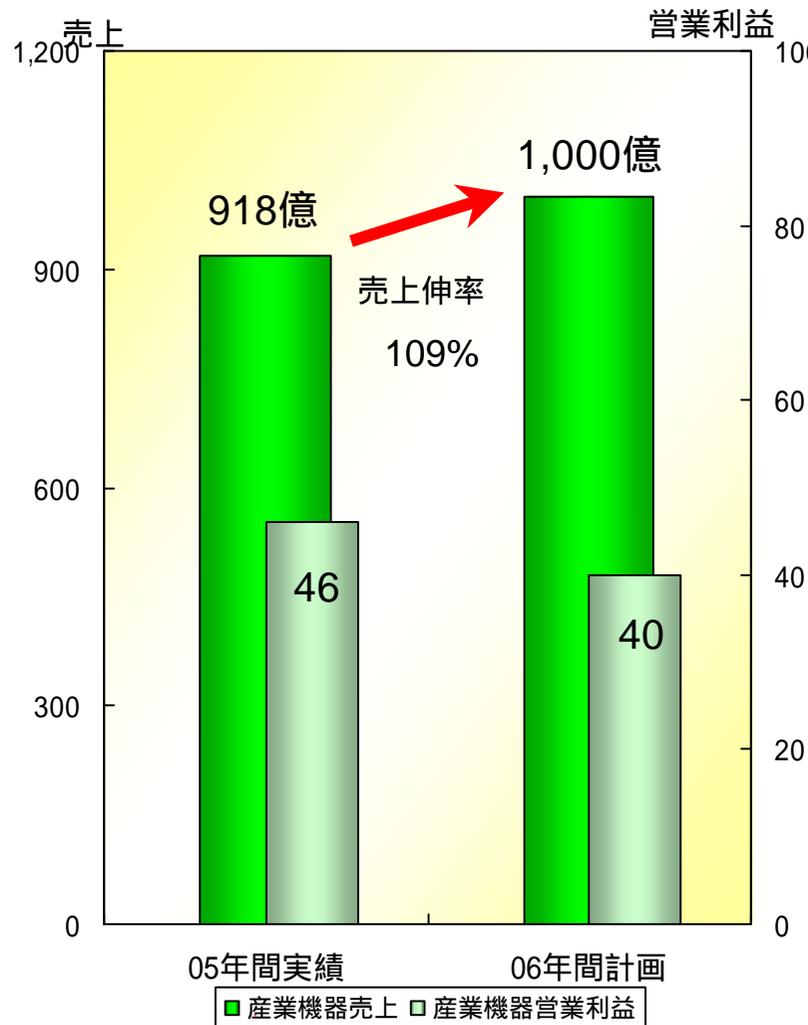


13-6.業績予想（産業機器）

【年間】

【上期】

単位：億円



14 . 設備投資及び減価償却費

[連結]

単位:億円

	2005年 実績	2006年		
		上期計画	下期計画	計
取得額	101	70	40	110
減価償却	94	46	53	99

[単独]

取得額	89	68	37	105
減価償却	89	43	50	93

(単独内訳)

レンタル	64	43	20	63
------	----	----	----	----